

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム

「Local Action Plan Supporting System 通称：LAPSS（ラップス）」

「地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム（LAPSS）」は、環境省が提供する**地方公共団体（事務事業編）の策定及び温室効果ガス総排出量の算定・管理**を円滑に推進するための支援システムです。

◆ 地方公共団体実行計画（事務事業編）の策定・管理にあたり、こんなことでお困りではないですか？

計画の策定・改定

- 職員不足により、計画策定業務に時間を割くことができず、**計画が未策定**
- 計画策定に向け、**温室効果ガス削減に向けた有効な取組を知りたい**

計画の管理（措置の実施、点検）

- **活動量のデータ収集に手間がかかる**
- **収集データの修正が大変**
- 温室効果ガス排出量の計算方法が分からない

LAPSSが実行計画の策定・運用を支援します！

本システムの目的

- 実行計画の策定・運用に係る**事務負担軽減、排出量計算精度の向上**
- 実行計画のPDCAサイクル高度化に向けた**各団体のニーズに合った情報提供**

本システムのメリット

データの一括登録

- ✓ 部局/課室情報、施設情報や施設の活動実績データは、専用のExcelツール(VBA)を使用した**一括登録が可能**
※2020年11月より実装した新規機能

計画策定に伴う作業負担軽減

- ✓ 情報登録フォームを活用した計画策定業務の簡素化
- ✓ システム上で他団体の取組措置情報を収集することが可能

データ収集に伴う作業負担軽減

- ✓ LAPSSを通じてデータ収集や督促ができ、施設管理部局との個別のメール・電話によるやりとりが不要

算定精度の向上

- ✓ システム上で入力値の自動チェックが可能。また排出係数はシステムに登録され、温室効果ガス排出量が自動計算

関連法制度報告書提出作業負担軽減

- ✓ 省エネ法、温対法等の関連する法制度の温室効果ガス算出に係る作業負担が軽減

※ 環境省提供のクラウドシステムのため、団体様側での費用の負担無しで利用可能

【利用団体御担当者様の声】

- LAPSSは他業務で使用するシステムと比較しても、使用方法等とても分かりやすく、とても便利なシステムかと思います。

団体担当者様

- LAPSSのお陰で、データ収集やデータ修正作業等実行計画策定・管理に係る業務負担を大きく減らすことができました。多くの団体に使っていただきたい。

団体担当者様

本システムの機能一覧

マスタデータの一括登録機能	✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録
実行計画策定支援機能	✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力 ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能
脱炭素に資する措置の設定機能	✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定 →措置分類、削減目標、導入費用等を管理 ※2021年度の新機能として、部局、課室、施設単位でも排出量削減目標の設定、点検が可能
活動量データ登録機能	✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ（実績値）を登録 ※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能
入力依頼・督促メール配信機能	✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信
排出量算定・集計機能	✓ 排出量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能 ✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能 ✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能
措置の自己評価・点検結果登録機能	✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施
他団体比較機能	✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能
掲示板閲覧・投稿機能	✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした団体内掲示板機能を利用可能。

LAPSSでできること

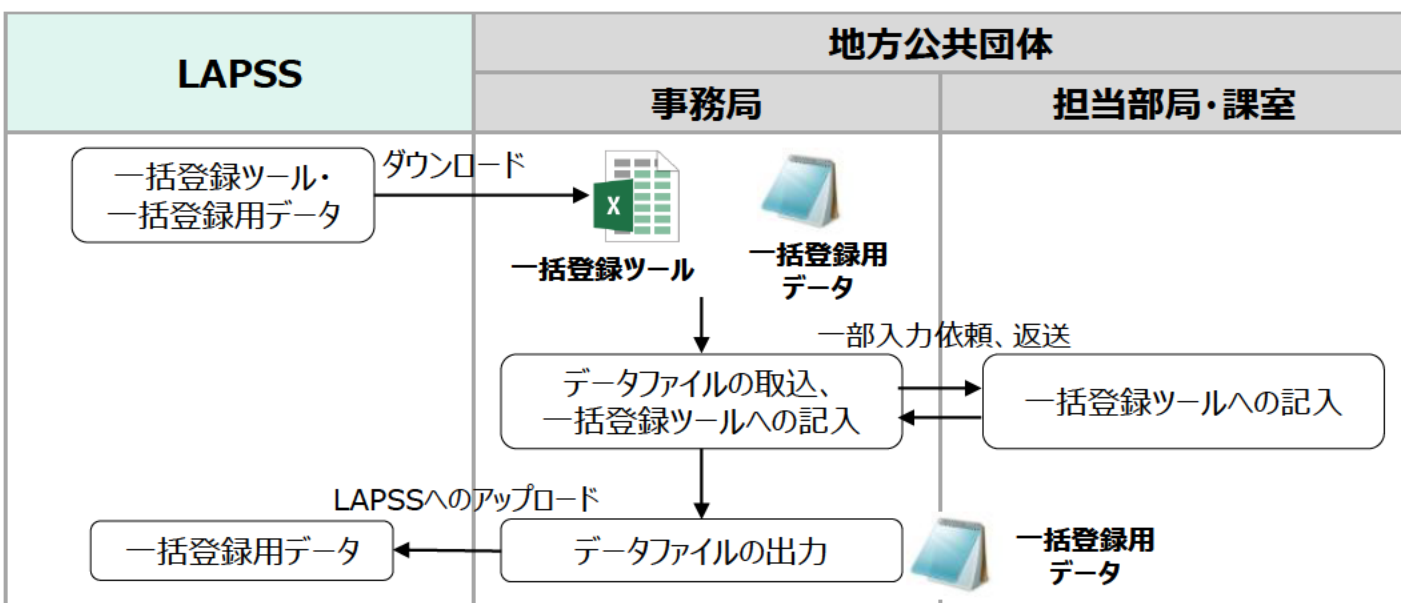
マスターデータの一括登録機能



マスターデータ（部局・課室、施設・設備情報）や施設・設備の過去実績値の初期登録、LAPSSへのデータ移行に手間がかかる

LAPSSに掲載されている専用Excelツール(VBA)を使用することで、**マスターデータ、実績値を一括で登録**することが可能です

マスター一括登録、実績値一括登録機能利用におけるワークフロー



実行計画策定支援機能



職員不足により、計画策定業務に時間を割くことができず、実行計画の策定に至っていない

実行計画策定に向けた**基礎情報入力雛型の提供**
登録内容は帳票出力が可能、公表用資料として活用が可能

実行計画基礎情報 登録	
基本情報	
必要な項目を入力してください。	
実行計画名 必須	実行計画名を入力
策定・改定年月 必須	年を選択 月を選択 月
計画期間 必須	年を選択 月を選択 年 ~ 年を選択 月を選択 月
最終策定年度 任意	例) 2017 年度 (西暦)
基準年度 必須	例) 2017 年度 (西暦)
基準年度温室効果ガス排出量 必須	例) 1000 t-CO2
目標年度 必須	例) 2017 年度 (西暦)
目標年度温室効果ガス排出量 必須	例) 1000 t-CO2
関連情報	
基本的事項	
目的 任意	
対象とする範囲 任意	

実行計画策定に必要な基礎情報（実行計画名、計画期間、基準/目標年度、目標年度温室効果ガス排出量等）を登録することができます。

目的、温室効果ガスの排出状況等実行計画の関連情報の登録も可能です。

フォーマットに沿って必要事項を入力した後、登録内容は帳票出力することができるため、**実行計画の策定、公表に係る負担を軽減**できます。

LAPSSでできること

脱炭素に資する措置の設定機能



施設管理局の排出量を管理しているものの、温室効果ガスの排出削減のために取り組む措置については管理できていない、こういった措置が検討されるのかがわからない

管理している施設・設備において、温室効果ガスの排出削減のために取り組む措置の内容が登録可能です。施設ごとの措置設定内容はCSVファイルとして出力することもできます。

施設に対する措置 一覧

施設情報

施設名: test

前年度の温室効果ガス排出量:

実行計画名: ○○市実行計画（事務事業編）第7期計画

措置分類

措置

温室効果ガスの排出の抑制等に資する設備の選択 | 発電専用設備・受変電設備・コージェネレーション設備

太陽光発電設備の導入

編集・削除

施設ごとに、実施する措置の基礎情報を登録・管理することができます。
また、2021年度の新機能として、部局、課室、施設単位でも排出量削減目標の設定、点検が可能になります。

活動量データ登録機能



報告された活動量データの管理や精査に手間がかかる

施設管理者が施設毎の活動量データを入力することが可能で、活動量入力時は異常値（桁間違い等）を自動でチェックし誤入力を防止します。
さらに、活動量データの一括登録機能を活用すれば、専用Excelツール(VBA)から施設の活動量データを一括で登録することが可能です。

月別実績値 入力

- 当年度値は前月比50%を超えています。コメントを入力してください。

年度 2019

対象施設名 東公民館

入力期間 8 月 選択

前月および前年同月の活動量と比べて50%の増減がある場合はメッセージでお知らせします。
桁間違いなどによる誤入力を未然に防止します。

8月

前月（7月）

項目分類	項目名	単位	前年度値	当年度値	金額（円）	コメント	当年度値	金額（円）
燃料の使用（気体燃料）	：都市ガス うち家庭用機器での使用量	Nm3	-	900	8000		100	9,500

LAPSSでできること

入力依頼・督促メール配信機能



入力依頼、督促など施設管理者からの活動量データの収集業務に
手間がかかる

期限までに入力されていない施設管理部局に対しては
入力依頼メールや**督促メール**を自動配信することができます。

実施依頼メール 設定

通知 **必須** ☐ ON ☒ OFF

入力対象月 **必須** ☒ 4月 ☒ 5月 ☒ 6月 ☒ 7月 ☒ 8月 ☒ 9月 ☒ 10月 ☒ 11月 ☒ 12月 ☒ 1月 ☒ 2月 ☒ 3月

入力期間 **必須** 翌月 日 ~ 日

送信頻度 **必須** 期限日以降 日間隔

件名（依頼） **必須** 実績入力をお願い【依頼】

本文（依頼） **必須** ○○市 地域づくり課 各位
前月の実績入力をお願いします。

件名（督促） **必須** 実績入力をお願い【再送】

本文（督促） **必須** ○○市 地域づくり課 各位
前月の実績入力時期を過ぎていますのでご対応をお願いします。

登録

施設毎の活動量データが期限までに
入力されていない施設管理部局に対して、
入力督促メールが自動で配信されるため、
管理業務の工数を大幅に削減でき
ます。

排出量算定・集計機能



温室効果ガス排出量の算定・集計に手間がかかる
電気事業者等の排出係数が毎年変わるため、管理が手間

条件（集計範囲、温室効果ガスの種類、集計方法）を組み合わせた
集計出力が可能であり、**排出量の推移・内訳が見える化**できます。
排出係数は**LAPSSが標準装備**しており、**更新作業は不要**です。



排出量の推移、内訳（構成比率）をグ
ラフで表示し分析を容易に行うことができ、
集計に掛かる工数を大幅に削減できます。

排出量の計算に必要な排出係数は
LAPSSが標準装備しています。毎年の排
出係数の更新は必要ありません。

LAPSSでできること

関連制度報告に向けた排出量算定機能



省エネ法・温対法など、関連する法制度の温室効果ガス算定に係る作業負担が大きい

省エネ法・温対法報告などに応じた排出量の算定が可能です。

関連制度別排出量算定

対象制度 **必須** 地方公共団体実行計画（事務事業編）
対象年度 **必須** 2018 年度
温室効果ガス **必須** ☒ 総排出量 ☐ CO2 ☐ CH4 ☐ N2O ☐ HFC ☐ PFC ☐ SF6 ☐ NF3

表示

「事務事業編」のほか、「省エネ法」、
「温対法(算定・報告・公表制度)」
等を指定可能

このデータをCSVでダウンロード

温室効果ガス排出量 (t-CO2)

施設分類（大分類）	施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
市民文化系施設	〇〇区民ホール	252	246.4	242.48	245.56	248.64	279.72	282.8	283		
社会教育系施設	〇〇環境未来館	943.6	989.13	912.26	909.68	952.88	924.06	904.5			
公園	△△中央公園	83.07	94.08	90.87	49.26	47.78	50.81	52	92		
公園	〇〇パーク	62	90.68	99.82	101.79	98.94	96.89	97.52	62	65.45	63.19

関連制度で必要となる温室効果ガス
排出量を算出できます。
これにより類似する法制度の排出量算
出の工数が大幅に削減できます

措置の自己評価・点検結果登録機能



温室効果ガス削減措置を設定しているものの、評価や点検の管理ができていない

実行計画策定時に設定した各施設設備の措置について、
年度ごとに取組状況の点検と自己評価を行うことができます。

措置点検結果の入力

各措置の点検（確認と見直し）を行い、点検完了コメントを入力して登録してください。

実行計画 千代田市温室効果ガス削減に向けた第1次実行計画

点検年度 2018

施設名 千代田リサイクルセンター

No.	施設分類	措置	自己評価 必須	
1	温室効果ガスの削減の取組等に資する設備の使用 方法 照明設備	照明を利用していない場所及び時間帯におけるこまごま消灯	3	点検
2	温室効果ガスの削減の取組等に資する設備の選 択 照明設備	LED（省光ダイオード）照明への更新	4	点検

総合評価 **必須** 照明設備のこまごま消灯については改善を要する。

点検完了日 **必須** 2018/02/13

点検実施者 **必須** 藤田三郎

点検完了 ☒

措置ごとの自己評価と、総合評価を
登録することができます。

一覧に戻る

登録

LAPSSでできること

他団体比較機能



他団体で実施されている有効な措置の事例を参考にしたい

他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、
削減効果の高い団体の措置を参照することができます。

集計年度 2018 年度

比較対象団体 都道府県 47 項目選択中
団体区分 10 項目選択中
☐ さらに団体を絞り込む

比較対象とする他団体を、**都道府県及び団体区分で指定**することができます。
特定の団体を指定することもできます。

温室効果ガス ☒ 総排出量 ☐ CO2 ☐ CH4 ☐ N2O ☐ HFC ☐ PFC ☐ SF6 ☐ NF3

集計

他団体の**削減状況**(原単位及びその対前年度比)と比較し、**他団体で取り組んでいる措置を参照**することができます。
これにより、**自団体の取組の振り返りや措置の立案に活用**できます。

自団体

他団体

原単位 (t-CO2/m2)

原単位の対前年度比 (%)

大分類

中分類

原単位 (t-CO2/m2)

原単位の対前年度比 (%)

平均

ばらつき

標準偏差

平均

ばらつき

標準偏差

平均

ばらつき

標準偏差

市民文化系施設

集会施設

0.0188

82.986

0.0303

0.01

0.021

92.79408

75.405

8.6

スポーツ・レクリエーション系施設

スポーツ施設

0.0117

100.14

0.0634

0.005

0.072

93.9117

63.143

7.946

詳細情報

学校教育系施設

小学校

0.01485

100.585

0.01515

0.03

0.003

100.1704

1.376

1.173

詳細情報

学校教育系施設

中学校

0.01118

100.615

0.01144

0.03

0.001

99.72812

3.151

1.775

詳細情報

LAPSS新規利用団体の募集

LAPSSの利用募集スケジュール

- **9月中旬以降より申込募集を開始し、通年**での募集を予定しております。また募集に際し、LAPSSのシステム・機能紹介やシステム導入までの流れをご紹介します**LAPSS説明会**を開催予定でございます。
- LAPSSの新規利用をご希望される団体は、下記の宛先までメールにてご連絡ください。

<申込先>

環境省 大臣官房 環境計画課 寒川、高橋

Tel: 03-5521-8234

E-mail: SOKAN_CHIIKI@env.go.jp

- また、新規に利用をお申し込みいただいた団体向けに、LAPSSの基本的な使い方をデモ操作でご説明し、参加者からのご質問に回答する**LAPSS操作勉強会**を実施予定でございます（各回1時間程度、内容はすべて同じもの）。
 - 過去に実施した勉強会の資料や録画は、LAPSS支援サイト上からご確認ください。

	2021年				2022年	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
LAPSS利用の 申込み期間	9月中旬～通年申込可能					
	※申込みから概ね3～4週間でアカウント登録メールが届きます。メールに従い登録作業することでシステム利用を開始できます。 ※基礎データは利用開始後約3ヶ月以内にご入力をお願いいたします。					
LAPSS説明会		▲	▲	▲		
LAPSS操作勉強会					▲	▲